

# 沼川新放水路の計画

平成25年7月18日

静岡県沼津土木事務所

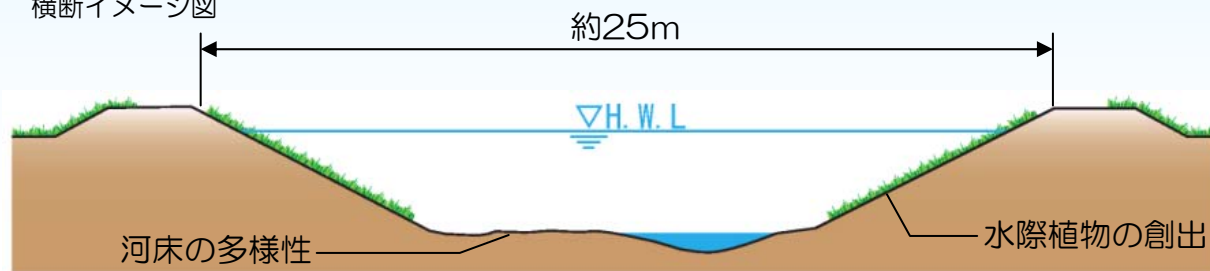
## 主要工事の概要（沼川新放水路（仮称））

高橋川分流地点から河口区間においては、 $Q=150\text{m}^3/\text{s}$  の流量を安全に流すことを目的として、高橋川上流の洪水を直接海域へ放流する、新たな放水路を整備する。



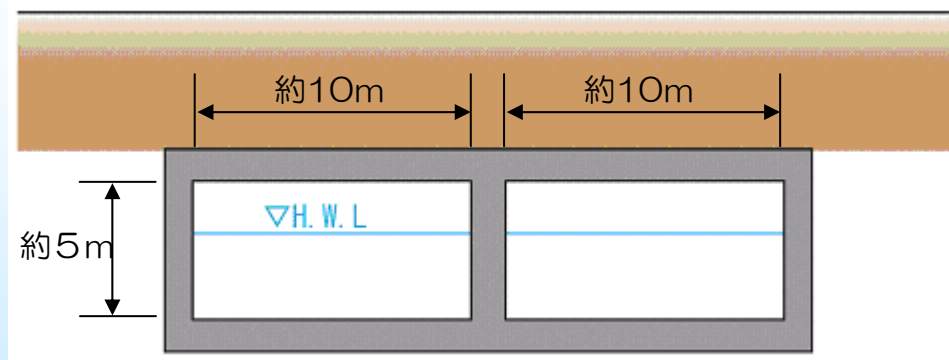
実施箇所  
L=約2.3km

横断イメージ図



開水路区間（JR東海道線以北）

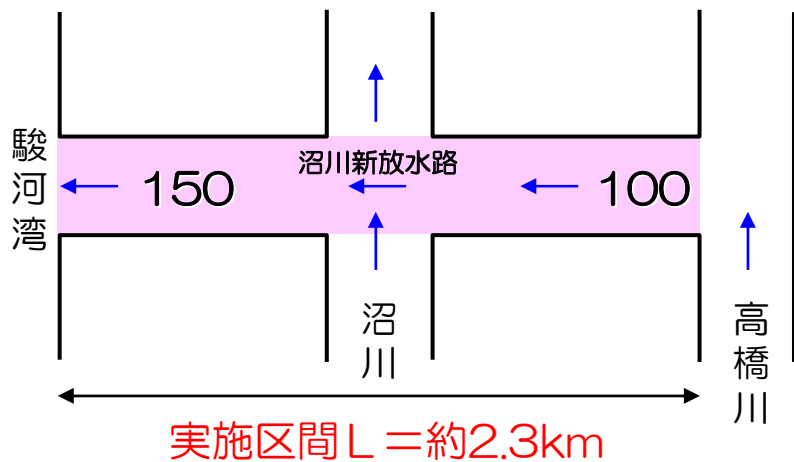
横断イメージ図



暗渠区間（JR東海道線以南）

流量配分図

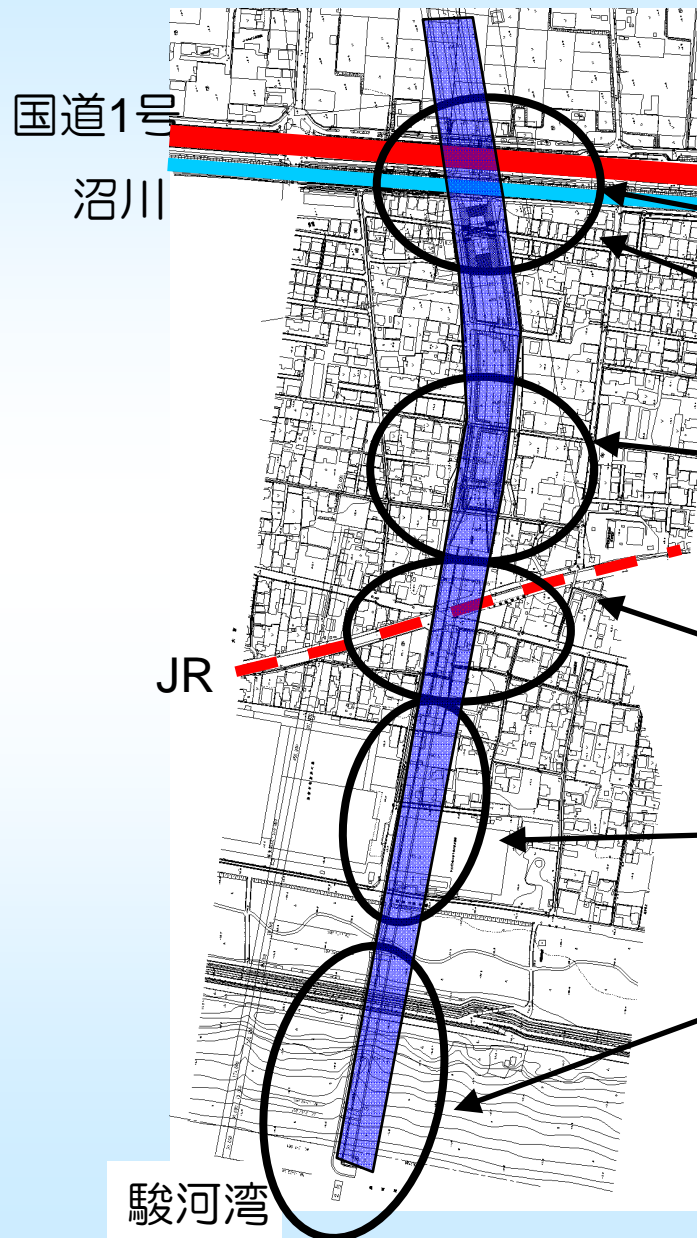
(流量： $\text{m}^3/\text{s}$ )



注1) 断面形状等については、必要に応じ変更することがある。

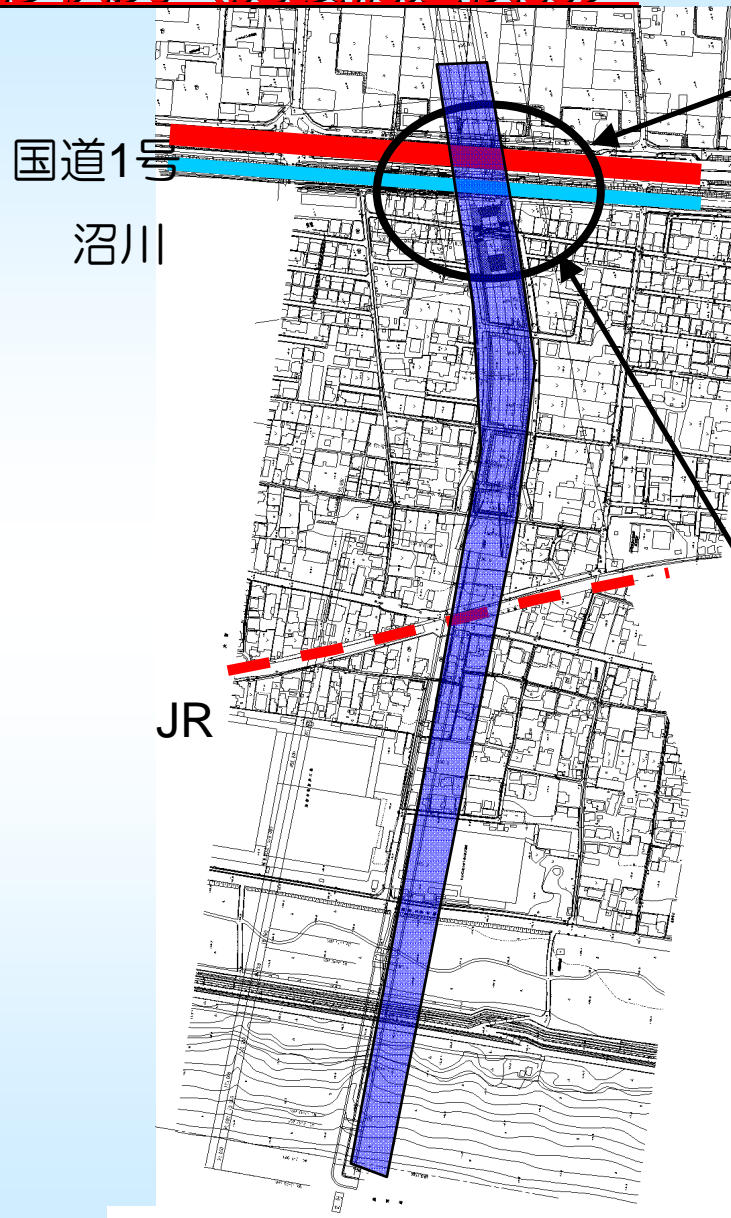
注2) 暗渠区間の構造については、海岸浸食や海岸環境への影響を踏まえ検討し決定する。

## 進捗状況（施設構造検討）



- ① 国一交差部
- ② 沼川分合流部構造検討
- ③ 開口部と暗渠部のすり付け区間の構造検討
- ④ JR交差部の構造検討
- ⑤ 箱型管渠構造検討
- ⑥ 防潮堤及び放流口部検討

## 進捗状況（施設構造検討）



駿河湾

### ①国道1号区間

国道1号道路管理者＝国土交通省

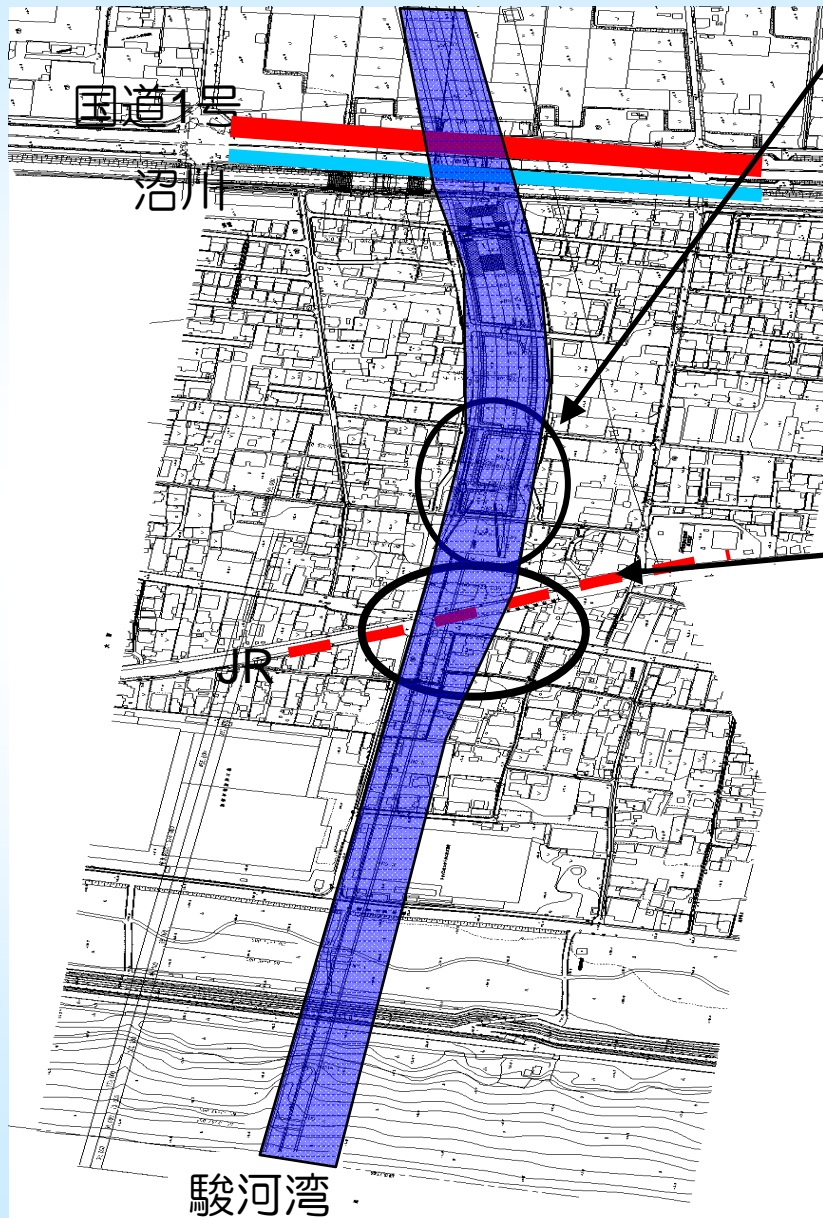
- ・ 主要幹線道路（約55,500台／24h）であり通行止めは難しい。
- ・ 工事中通行車両の安全確保が必須。
- ・ 設計・協議には時間を要する。

### ②沼川本川との合流部

○国道1号横断後の沼川との合流

- ・ 洪水時の沼川本川と放水路の合流処理方法
- ・ 合流処理に伴う施設の検討
- ・ 平常時の沼川本川と放水路の流量

## 進捗状況（施設構造検討）



### ③開口部と暗渠部のすり付け区間

○構造検討上のポイント

- ・ 開口部からトンネルに接続する箇所の水理現象
- ・ 維持管理方法

### ④JR交差部

管理者＝東海旅客鉄道(株)

- ・ 住宅が近接する地区のため線路の切回しが困難
- ・ 列車を運行させながらの施工となる
- ・ 列車運行中の安全確保が必須
- ・ 安全確保に配慮した最適な施工方法の検討に時間を要する

## 進捗状況（施設構造検討）

### ⑤箱型管渠構造検討

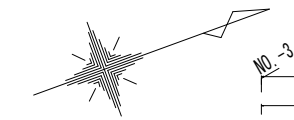
- 周辺建物への影響
  - ・施工時の近接する建物への影響
- 周辺環境への影響
  - ・大規模掘削に伴う地下水など
  - ・電気、ガス等のライフラインへの影響

### ⑥防潮堤交差部

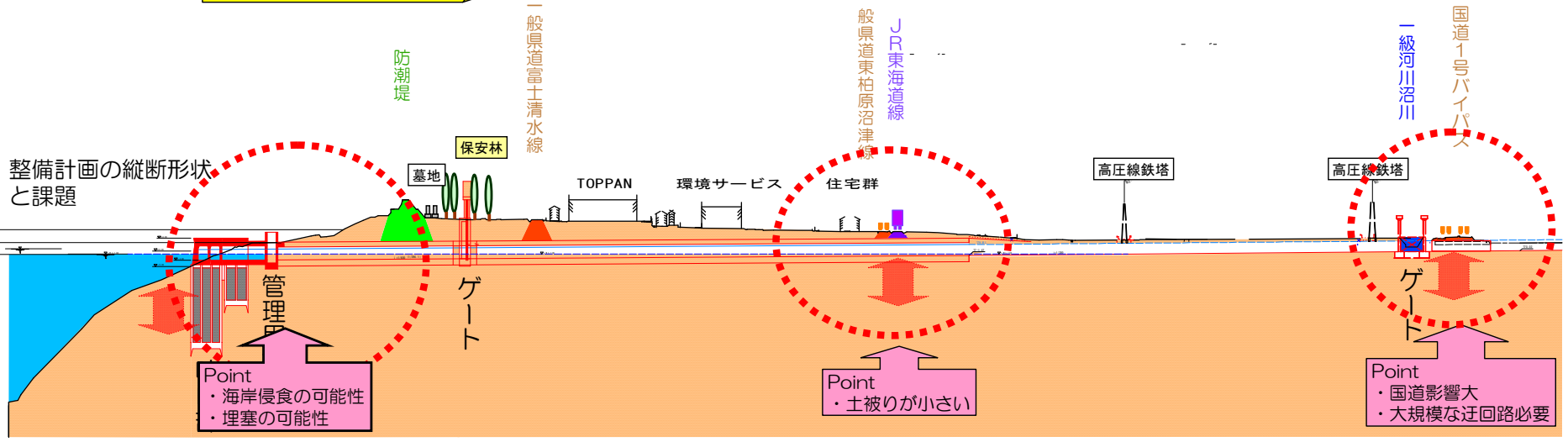
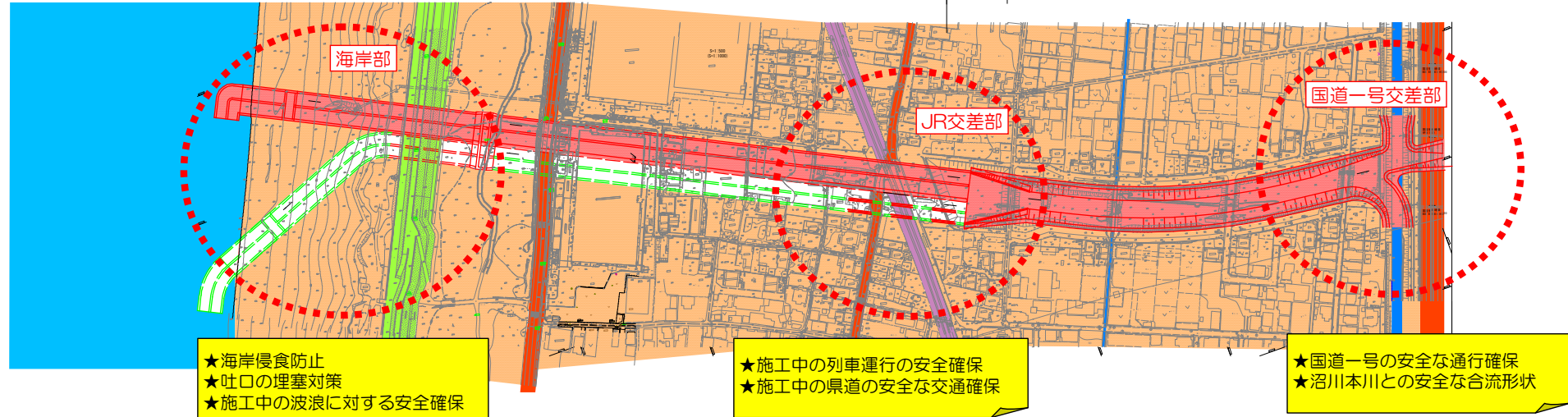
管理者＝国土交通省

- 防潮堤を横断する際の施工方法
  - ・施工時の防災対策
- 構造物設置に伴う影響
  - ・海底地形や砂の移動、浜幅の変動
  - ・津波等防災面
  - ・海洋生態系
- 維持管理
  - ・埋塞対策検討



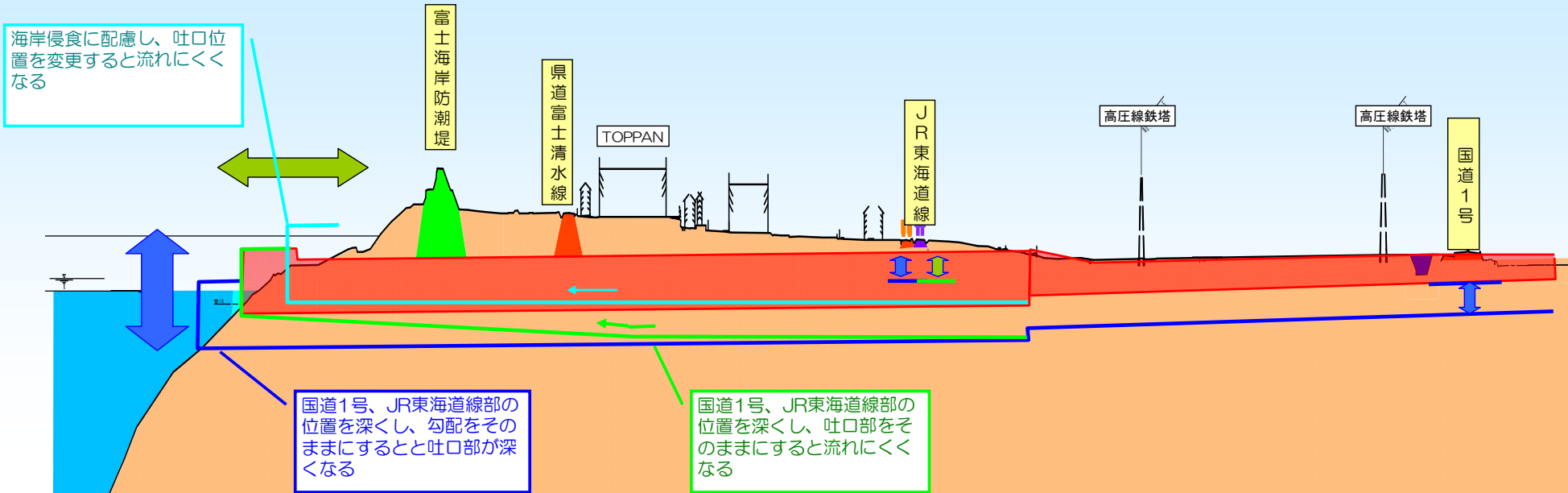


計画平面図

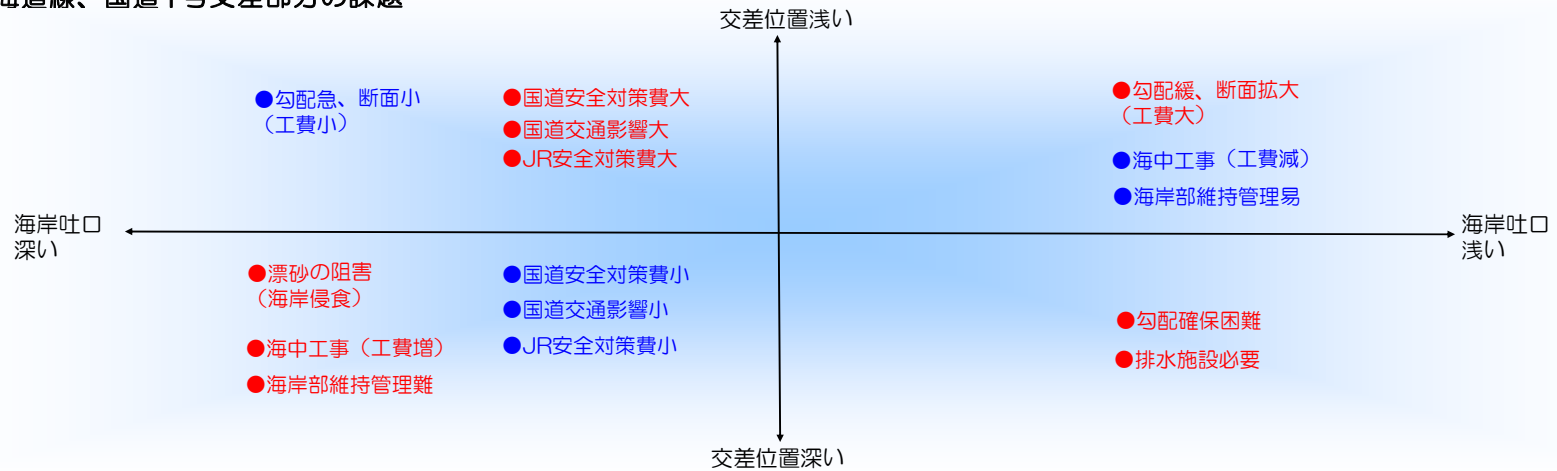


●海岸部、JR交差部、国道1号交差部の3箇所の高さのバランスを取りながら、全体の縦断形を決定する必要がある

### 縦断計画検討上の課題



### JR東海道線、国道1号交差部分の課題





ご清聴ありがとうございました